

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52511	保育実習指導Ⅰ Childcare Internship: GuidanceⅠ	全教員	✓		1	選択	1年後期
科目の概要							
本科目は保育実習Ⅰに向けての心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、実習園へ行く前の事前指導と実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などから構成されている。進級、保育資格取得の必須科目であり、保育士に必要な専門的知識・技能を獲得し現場で活用、応用できるように学ぶことを目的とする。これは、ディプロマポリシー①～⑥に相当する。 ★ 保育士、幼稚園教諭として実務経験があり、幼稚園教育要領や保育所保育指針に述べられている保育内容についてより実践的な講義を行う。							
学修内容			到達目標				
① 実習の意義と目的を学ぶ。 ② 実習オリエンテーション等で必要とされる言葉遣いや身だしなみといったマナーやルールを理解する。 ③ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材を作成する。 ④ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。			① 実習の意義と目的を理解できるようにする。（D.P.①③④） ② 実習オリエンテーション等で必要とされる言葉遣いや身だしなみといったマナーやルールを身に付け活用できる。（D.P.①②④） ③ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材を作成することができる。（D.P.①③④⑤） ④ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。（D.P.①③④⑥）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に保育教材作成に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。					
考え抜く力	課題発見力	保育実習に向けて、自らの課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	保育実習に向けて、自ら工夫した教材を作成することができる。					
チームで働く力	発信力	授業中の挨拶や発言、実習先との口頭での対応がしっかりとできる。					
	傾聴力	発言者の話に集中し、聴くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「学外実習の手引き」本学幼児教育学科作成 参考文献：厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館（320円）、内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」フレーベル館（320円）、「教育・保育実習安心ガイド」ひかりのくに（1100円）、「教育・保育実習実技ガイド」ひかりのくに（1000円）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：教育実習Ⅰ、教育実習事前事後指導、保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習Ⅰ・Ⅱ、各種実習事前事後指導 資格との関連：保育士							
学修上の助言			受講生とのルール				
・講義や演習などで学んだ内容を毎回確認しておくことで、理解が深まっていく。 ・パネルシアターは、課題とされたものの他にも制作しておくことよい。 ・手遊びや折り紙、絵本等保育技術に関心を持つことが実践力に繋がっていく。			・欠席をしないこと。 ・提出物などの期限を厳守すること。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がけること。 ・学外実習に向けての内容であるため、積極的に参加すること。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	50	①	✓			・課題を明確にして実習の目標を期限内に書く。 ・実習記録の書き方を理解し、記載することができる。 ・部分実習指導案の書き方を理解し、記載することができる。 ・事前オリエンテーション報告書に求められる内容を記載し、期限内に提出する。 ※獲得した知識を活用し、課題に対して応用できるような記述を評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			パネルシアターを使った保育実践を想定し発表する。 発表態度評価基準 20点、パネルシアター作品評価基準 10点 保育教材の制作 10点
				②	✓			
				③	✓			
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に課題に取り組むこと（実行力）レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。（課題発見力）保育実習に向けて、自らの課題を見出すことができる。（創造力）保育実習に向けて、自ら工夫した教材を作成することができる。（発信力）授業中の挨拶や発言、実習先との口頭での対応がしっかりとできる。（傾聴力）発言者の話に集中し、聴くことができる。（規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①保育実習Ⅰの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材が作成できること③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数90%以上S（秀）、89～80%A（優）とする。	①保育実習Ⅰの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に学び、教材が作成できること③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数79%～70%B（良）、69%～60%（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 保育所保育指針を通して、保育所の役割について理解する。(福井) DVD視聴を通して、保育実習の心構えとマナーについて学ぶ。(入口)	講義 DVD視聴	保育所の役割について理解することができる。 保育所実習の意義と目的について理解することができる。 保育実習の心構えとマナーについて理解することができる。	(予習) パネルシアターの題材について調べ選んでおく。 (復習) DVDの視聴内容についてレポートを書き、classroom上に提出する。	45	主体性 傾聴力 規律性
2	保育実習教材(パネルシアターボード)を制作する。 (G1: 福井・G2: 入口)	演習 グループ討議	パネルシアターボードを制作することができる。	(予習) パネルシアターボードの作成方法について確認しておく。 (復習) パネルシアターボードを使った自己紹介の方法を決定しておく。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
3	パネルシアターを使った歌遊び、おはなしの作品制作をする。 (G1: 福井、G2: 入口)	演習 作品制作ワーク	パネルシアターを使った作品制作をすることができる。	(予習) 手遊び、歌遊びの制作物等を考えておく。 (復習) パネルシアターを使った遊びの練習をする。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	パネルシアターを使った歌遊び、おはなしの作品制作をする。 (G1: 福井、G2: 入口)	演習 作品制作ワーク	パネルシアターを使った作品制作をすることができる。	(予習) 手遊び、歌遊びの制作物等を考えておく。 (復習) パネルシアターを使った遊びの練習をする。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	パネルシアターを使った遊びの発表をする。 学生相互に評価し合う。 (G1: 入口、G2: 福井)	演習 成果発表 全体ディスカッション	パネルシアターを使った遊びの発表をすることができる。	(予習) パネルシアターを使った遊びの練習をする。 (復習) 発表を振り返り、今後の課題を明らかにする。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	必要書類作成(入口) 実習の目標の書き方(下書き)を学び、記載し、classroom上に提出する。 発表された実習園について、ウェブサイト等を活用し、情報収集する。 (福井)	演習 質疑応答による 復習フィードバック	書類に必要な事項が正しく記入できる。 実習の目標の書き方を理解し、書くことができる。	(予習) 幼稚園実習の目標を振り返り、次段階の課題を明らかにしておく。 (復習) 実習の目標を完成させる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
7	添削された実習の目標を基に、下書きを書き直す。(入口) 保育教材を制作する。 (G1: 福井・G2: 入口)	演習 レポート指導のフィードバック 保育教材作成 質疑応答	実習の目標の下書きを元に、手書きにて学校提出用紙に清書して提出することができる。	(予習) 実習の目標を提出できるように内容確認する。 保育教材の作り方を調べ、必要な材料を集める。 (復習) 保育実習記録練習用を完成させる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	保育教材を制作する。 (G1: 福井・G2: 入口)	保育教材作成 質疑応答	保育実習の自己紹介やすきま遊びで使用する教材を制作できる。	(予習) 保育実習記録練習用を提出できるように、内容確認する。 (復習) 制作した教材を使った保育の展開を考える。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	部分実習指導案の書き方を学び、PCで作成する。(G1:福井・G2:入口) 疑問点を質問する。	演習 レポート作成 質疑応答	部分実習指導案の書き方を理解し、作成・提出することができる。	(予習) 部分実習の内容を決めておく。 (復習) 部分実習指導案の書き方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	観察記録(時系列)の書き方を学び、作成する。(福井) 疑問点を質問する。(G1:福井・G2:入口)	演習 レポート作成 質疑応答	観察記録の書き方を理解し、作成することができる。	(予習) 幼稚園実習を振り返り、子どもの様子を整理しておく。 (復習) 観察記録の書き方を復習する。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	観察記録(エピソード)の書き方を学び、作成する。(福井) 疑問点を質問する。(G1:福井・G2:入口)	演習 レポート作成 質疑応答	観察記録の書き方を理解し、作成することができる。	(予習) 幼稚園実習を振り返り、子どもの様子を整理しておく。 (復習) 観察記録の書き方を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
12	保育実習記録ノートの書き方を学び、実際に練習用に記入する。(福井) 現地オリエンテーションについて、電話のかけ方・訪問の留意点・挨拶の仕方・報告書の記入方法を学ぶ。(入口) 学生相互に電話対応を模擬練習する。(入口・服部・福井)	演習 学生同士のロールプレイ	実習ノートに必要な事項を正しく記入できる。 現地オリエンテーションについて、電話のかけ方・訪問の留意点・挨拶の仕方・報告書の記入方法について理解することができる。 実習園との電話対応ができる。	(予習) 書類作成に必要な持ち物を確認しておく。 現地オリエンテーションについて、テキストを再読しておく。 (復習) 電話対応等、発話内容をまとめておく。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	実習中の心得等について学ぶ。(外部講師による特別授業)	講義	実習に向けて、実習の心構え、子どもとの関わり方や保育者への礼儀作法等について理解できる。	(予習) 実習に対する不安についてまとめておく。 (復習) 心構えを整理し、実習にむけての準備をする。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	添削された内容及び決定した担当クラスの対象年齢を反映させて、部分実習指導案を完成し提出する。 保育実習に向けての準備を確認する。(G1:福井・G2:入口) 疑問点を質問する。	演習 レポート指導のフィードバック 質疑応答	添削された内容及び、決定した担当クラスの対象年齢を反映させて部分実習指導案を完成させることができる。 保育実習に向けて必要なことを確認し、準備を整えることができる。	(予習) 決定した担当クラスを想定し、部分実習の内容を再検討する。 (復習) 保育実習に向けて必要なことを確認し、準備を整える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	保育所実習反省会において、実習を振り返り、今後の課題を明らかにする。 必要書類等を完成させ、提出する。(全教員)	演習 グループディスカッション	反省会でのグループ報告、ディスカッションを通じての体験の共有し、さらに自己の課題発見をすることができる。 必要書類等を完成させ、提出することができる。	(予習) 反省会での提出書類を完成する。 (復習) 他学生の振り返り内容を参考に、今後の課題を再確認する。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52512	保育実習指導Ⅱ Childcare Internship: Guidance Ⅱ	入口・井手・伊藤照・福井・谷村・桂山・本多・浅尾・伊藤智・服部	✓福井		1	選択	2年前期
科目の概要							
総合的な学びが期待される保育実習Ⅱに向けて、保育所の生活に参加するだけではなく、自らが保育を計画し、実践することができるように、保育士に必要な専門的知識・技術をさらに高めていくことを目的とする。保育実習Ⅰの実践や記録を振り返り、明らかになった課題の解決に向けて、記録、指導計画等の実践的な演習を行う。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。これらはディプロマポリシー①～⑥に相当し、これらを身に付けるためにおこなう。 ★ 保育所での保育士として実務経験があり、保育所保育指針に述べられている保育内容についてより実践的な講義をおこなう（福井）。							
学修内容				到達目標			
① 保育実習Ⅱの意義と目的を学ぶ。 ② 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について知る。 ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、課題を明確にする。				① 保育実習Ⅱの意義と目的を理解し、説明することができる。（D.P. ①②③④） ② 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案を作成することができる。（D.P. ①③④⑤） ③ 実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を記述することができる。（D.P. ③④⑥）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に保育教材作成に取り組むことができる。保育実習Ⅰで明らかになった課題に自主的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。					
考え抜く力	課題発見力	授業で取り組んでいく課程で、新たな課題を明らかにすることができる。					
	計画力						
	創造力	保育実習に向けて、自ら工夫した保育活動を組み立て、準備することができる。					
チームで働く力	発信力	話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。発表の仕方を工夫して発表することができる。					
	傾聴力	発言者の話に集中し、聴くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題をおこなう。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：本学幼児教育学科作成『学外実習の手引き』 参考文献：無藤隆『はじめての幼保連携型認定こども園 教育・保育要領ガイドブック』フレーベル館（1000円） 阿部恵・鈴木みゆき『教育・保育実習安心ガイド』ひかりのくに（1100円）、東山明・名賀三希子『教育・保育実習実技ガイド』ひかりのくに（1000円）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：教育実習Ⅰ、教育実習事前事後指導Ⅰ、保育実習・施設実習、各種実習事前事後指導 資格との関連：保育士・レクリエーションインストラクター							
学修上の助言				受講生とのルール			
・自らの言動が、常に子どもたちのモデルになっていることを考え、行動すること。 ・他教科で学んだり、様々な情報から得たりした絵本や季節の歌、手遊び等について、発達過程別に分類しておくこと。				・提出物などの期限を厳守すること。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がけること。 ・欠席や遅刻回数が多い、授業態度が悪い、提出物の期限を守らない等、積極的に受講する姿勢を示さない学生は実習を受けることができないので注意すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	50	①	✓			・保育実習Ⅰの振り返りを基に、保育実習Ⅱに向けて目標を設定し、期限内に提出することができる。 ・保育実習Ⅱに必要な書類を期限内に完成させ、提出することができる。 ・保育実習Ⅱにおける部分実習指導案の書き方を理解し、作成することができる。 ・保育実習Ⅱにおける責任実習指導案の書き方を理解し、作成することができる。 ・現地オリエンテーション報告書に、求められた内容を記載し、期限内に提出することができる。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			・保育実習の内容を具体的にイメージし、今までの学びを基に展開方法について具体的な指導案を作成し、教材を活用して発表することができる。 ・実習に備えて、部分実習指導案や責任実習指導案を作成し、他者にわかりやすく説明することができる。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）保育実習に向けて実習内容を理解し、積極的に保育教材作成に取り組むこと （実行力）レポートや書類に求められた内容を記載し、期限内に提出できる。 （課題発見力）保育実習に向けて、自らの課題を見出すことができる。 （創造力）保育実習に向けて、自ら工夫した教材を作成することができる。 （発信力）授業中の挨拶や発言、実習先との口頭での対応がしっかりとできる。 （傾聴力）発言者の話に集中し、聴くことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①保育実習Ⅱの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案が作成できること。③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数90点以上S（秀）、89～80点A（優）とする。	①保育実習Ⅱの意義と目的の理解実習の計画できること②実践、観察、記録、評価の方法等について具体的に理解し、指導案が作成できること。③実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確になるようにすること 以上の3つの目標について、レポート、成果発表、作品評価、社会人基礎力の総合計点数100～90点S（秀）、89～80点A（優）、79点～70点B（良）、69点～60点（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーション 保育所保育指針を通して、保育所の役割について再確認する。 ・保育実習Ⅱの意義と目的、概要について学ぶ。 学外実習全体と保育実習Ⅱの関連性について確認する。 (入口・福井・服部・井手・谷村・伊藤照)	講義 質疑応答によるフィードバック	・保育所の役割について再確認することができる。 ・学外実習の中での保育実習Ⅱの位置付けを理解することができる。	(予習) 学外実習の手引きを読んでおく。 (復習) 実習全体の中での保育実習Ⅱの位置付けを再確認する。	45	主体性 傾聴力 規律性
2	・保育実習Ⅱに必要な書類の書き方を学び、記入する①。 ・保育実習Ⅰの振り返りを通して保育実習Ⅱの目標を考え、下書きを完成させる。 (入口・福井)	演習 質疑応答によるフィードバック	・必要な書類に必要な事項を正しく記入できる。 ・保育実習Ⅱの目標を設定し、下書きを完成することができる。	(予習) 必要書類に記載できるよう準備する。 (復習) 保育実習Ⅱの目標を完成させ提出する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
3	「すきま遊び」を実践的に学ぶ。 「すきま遊び」の具体的な内容を知り、導入や展開の際の言葉かけや援助について学ぶ。 (福井・入口)	演習 グループワーク パソコンを使用して実践例を調べ、自身の活動内容の参考とする 質疑応答によるフィードバック	・グループの仲間とすきま遊びの導入や展開の方法を考え発表できる。	(予習) すきま遊びの内容について理解しておく。 (復習) 導入や展開の方法について自分の感想や考えをまとめておく。	45	主体性 課題発見力 創造力 規律性
4	・保育所実習Ⅱの部分実習案、責任実習の指導案の書き方について理解する。(福井) ・「すきま遊び」の部分指導案を書いて提出する。(入口)	演習 質疑応答によるフィードバック	・保育実習Ⅱの部分実習、責任実習の指導案の書き方について理解し、「すきま遊び」の指導案を作成することができる。	(予習) 保育実習Ⅰでの指導案の添削内容を見直す。部分実習指導案の内容について決める。 (復習) 部分実習、責任実習の指導案の書き方のポイントをまとめておく。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
5	・現地オリエンテーションに向けて、保育実習Ⅰの振り返りを通して、訪問の心構え、対応の仕方等を再確認し、具体的に行動できるように、学生相互にリハーサルをする。 ・遅刻・早退、欠勤や追加実習等の保育実習のルールを確認する。 (入口・福井)	演習 ピアワーク 質疑応答によるフィードバック	・現地オリエンテーションに向けて、訪問の心構え、対応の仕方等について具体的に行動できる。	(予習) 保育実習Ⅰ等でのオリエンテーション時をふり返り、自身の課題を明確にしておく。 (復習) 現地オリエンテーションの準備を確認する。	45	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・保育実習Ⅱに必要な書類の書き方を学び、記入する②。 ・「すきま遊び」の模擬保育をおこなう。 (G1:入口、G2:福井)	演習 グループワーク 質疑応答によるフィードバック	・部分指導案に沿って、保育活動を実践することができる。 ・グループの仲間と集団遊びの導入や展開の方法を考え発表できる。 ・他学生からの意見を謙虚に受け止めることができる。	(予習) 部分指導案の内容を円滑に実践できるように準備しておく。 (復習) 実践での課題を明確にし、解決策を考える。	45	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・添削された実習の目標を書き直し、清書を完成させる。 ・責任実習(一日実習等)に関する内容を聞き、理解する。 (入口・福井)	演習 質疑応答によるフィードバック	・保育実習Ⅱに望ましい目標を定め、指定の用紙に清書することができる。	(予習) 実習の具体的なイメージをもっておく。 (復習) 目標を達成するための手立てを具体的に考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8	・集団遊びを実践的に学ぶ① 主活動の「集団遊び」について、対象年齢や種類、目的などを理解する。 ・「集団遊び」の部分実習指導案を書く。 (入口・福井)	演習 グループワーク パソコンを使用して実践例を調べ、自身の活動内容の参考とする 質疑応答によるフィードバック	・主活動の「集団遊び」について、対象年齢や種類、目的などを理解することができる。 ・発達段階に応じた「集団遊び」を考えることができる。 ・グループメンバーと集団遊びの導入や展開の方法を考え発表できる。	(予習) 「集団遊び」について、どのようなものがあるのかを調べておく。 (復習) 実習で実践できそうな「集団遊び」をまとめておく。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・集団遊びを実践的に学ぶ② 「集団遊び」を想定し、導入や展開の際の言葉がけや援助、安全面での配慮について学ぶ。 ・「集団遊び」の部分実習指導案を書く。 (入口・福井)	演習 グループディスカッション パソコンを使用して実践例を調べ、自身の活動内容の参考とする 質疑応答によるフィードバック	実習での実践をイメージしながら、「集団遊び」の部分実習指導案を書くことができる。	(予習) 「集団遊び」をおこなう際の手順や子どもへの対応をイメージしておく。 (復習) 「集団遊び」の部分実習指導案の完成度を高める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
10	・集団遊びを実践的に学ぶ③ 部分実習指導案に沿って「集団遊び」を実践する。 (G1: 入口、G2: 福井)	演習 グループワーク 質疑応答によるフィードバック	・部分実習指導案に沿って、保育活動を実践できる。 ・他学生からの意見を謙虚に受け止めることができる。	(予習) 部分実習指導案の内容を円滑に実践できるように、準備をしておく。 (復習) 実践を終えて気づいたことや指摘されたことを含め、自身の実践に取り入れられるようにまとめる。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
11	・実習に向けての模擬保育① (スケッチブックシアター等の制作) (入口・福井)	演習 グループワーク パソコンを使用して実践例を調べ、自身の活動内容の参考とする	・実習での実践を想定しながら、スケッチブックシアターの内容を考え、制作することができる。	(予習) 発達段階に応じたスケッチブックシアターの内容を調べておく。 (復習) スケッチブックシアターの完成度を高める。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	・実習に向けての模擬保育② (スケッチブックシアター等の実践) (G1: 入口、G2: 福井)	演習 グループワーク 質疑応答によるフィードバック	・実習での実践を想定しながら、スケッチブックシアターをおこなうことができる。 ・他学生からの意見を謙虚に受け止めることができる。	(予習) 円滑にスケッチブックシアターが実践できるように準備をしておく。 (復習) 実践での課題を明確にし、解決策を考える。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	・外部講師 (元公立保育園園長) の講話を聴き、実習中の行動や心構えを考える。 (入口・福井)	演習 質疑応答によるフィードバック	・外部講師の講話を聴き、自分なりに実習時の言動や心持を考えることができる。	(予習) 実習での目標を確認し、実習の具体的なイメージを持つておく。 (復習) 外部講師の講話を聴き、自身の実習に取り入れたいことがらをまとめておく。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	・実習に向けて、準備等の最終確認をする。 ・実習に向けての諸連絡を受け、確認する。 (入口・福井)	演習 質疑応答によるフィードバック	・実習に向けて、何をすべきかを確認できている。	(予習) 実習に向けて、準備等をしておく。 (復習) 実習に向けての諸連絡の内容を再確認する。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育所実習反省会 巡回指導教員別の反省会において、実習を振り返り、今後の課題を明らかにする。(全教員)	演習 グループディスカッション 全体ディスカッション によるフィードバック	・反省会でのグループ報告、ディスカッションを通じて体験を共有し、さらに自己の課題を発見をすることができる。	(予習) 保育実習Ⅱを振り返り、自身の課題を明確にしておく。 (復習) 反省会で得た気づきを今後の保育・教育活動にどのように活かせるのかを考える。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力